

レイヤード切替チュニック & ワンピース 作り方



- こちらのパターンは身頃をニット、スカート部分を布帛で作る仕様です。
- すべて縫い代込みとなっておりますので、切り取ってそのままお使いください。
- 「わ」の表記と指定の数字以外は縫い代1cmです。
- ロックミシンの併用を推奨しますが、家庭用ミシンのみでも作製できます。
- 縫い方の手順は一例ですので、他に縫いやすい方法があれば色々工夫してみてくださいね。

※ こちらのパターンを使用して作られた作品については、委託販売・ネットショップ・オークション等、個人の範囲内に限り自由に販売していただく構いません。
※パターン及び仕様書自体の中古販売・複製販売は、固くお断りさせていただきます。
ご理解、ご協力の程宜しく願致します。

用意するもの

- ニット生地…天竺、接結ニット、スムース、ミニ裏毛、裏毛などの薄手～中厚ニット
- 布帛生地…ローン、ボイル、ダンガリーなどの薄手～中薄生地。※厚すぎるとギャザーがきれいに出来ません。
- ループひも(ゴムでもok)…5cm程度
※付けるボタンによって長さを調節してください。
- ボタン…1cm前後のもの1個

★出来上がり寸法(cm)

	70	80	90	100	110	120	130	140
身巾	30	32	35	37	39	42	44.5	47.5
着丈 (チュニック)	34.5	38	42	46	50.5	56	61.5	66
着丈 (ワンピース)	40	44	48	53	58	63	68.5	74

※出来上がり寸法は型紙を計測したものです。

★必要用尺(cm)

	70	80	90	100	110	120	130	140
身頃 (150幅)	35	40	40	45	50	55	60	60
スカート (チュニック)	40	45	50	50	60	60	70	70
スカート (ワンピース)	50	60	60	70	70	80	80	90

※柄合わせなどがある場合はこれより多めに用意してください。

★必要パーツ

計6パーツ



★準備

- 前後見返しに接着芯を貼っておく。
- 後見返しの接着芯を貼った側に、開き止まり位置まで切り込みの案内線を引いておく。

縫い方手順



1.前後見返しを中表に合わせ、肩を縫い合わせます。



2.縫い代を開き、周りにロックorジグザグミシンをかけておきます。タグなどを付ける場合はこの時点で付けます。



3.前後身頃を中表に合わせ、肩を縫い合わせます。縫い代はロックorジグザグミシンをかけ、後ろ身頃側に倒しておきます。



4.身頃と見返しを中表に合わせ、待針などで固定する。※必ず平らな場所で行ってください。ロックミシンをかけていない方(首周り)を縫い合わせていきます。



5.※重要！必ず右肩から前身頃に向かって縫い進めてください。後ろ開きに来たら真ん中線の1~2mm横の位置を縫い進め、図のように右後ろ側を4cmほどあけて止まります。赤い線が引いていないところは縫われていない状態です。



6.真ん中線の開き止まりギリギリの位置まで切り込みを入れます。糸まで切らないように注意してください。



7.一番上(縫い代含む)から1.2cmくらいのところにひもを挟みます。



8.続きを全て縫い合わせます。図のようにひもを待針(黒線)で挟むように固定するとずれにくいです。



9.カーブ部分に細かく切り込みを入れます。後ろ開きの上部はナナメに切り落とし、余計なループは切っておきましょう。



10.表に戻して見返しの周り(ロックorジグザグミシンをかけたところ)の端から3mmのところをステッチで押さえます。



11.袖の端にロックorジグザグミシンをかけ、1.5cm折り返しアイロンで押さえます。



12.袖先から1.3cm位のところにステッチをかけます。



13.袖下部分も自然に(縫い代の形に沿って)縫い合わせます。



14.身頃を中表に合わせ、前後脇下を縫い合わせます。ロックorジグザグミシンで縫い代を処理します。



15.前後身頃の裾を2.5cmのところで折り返し、アイロンで押さえます。

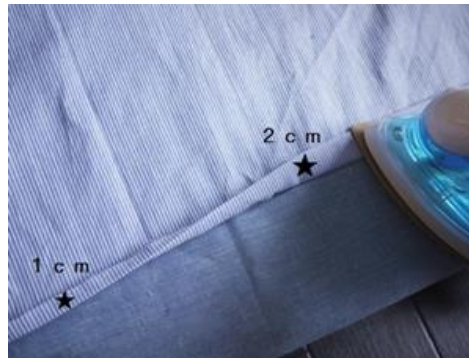


16.そのとき前身頃は少し伸ばしながら、後身頃は少し折り重ねるようにして自然なカーブになるように、所々タックをとりながら折り返します。

※このとき、のりなどで仮止めしないでください。



17.前後スカートを中表に合わせて、両脇を縫います。ロックかジグザグミシンで縫い代を処理します。



18.裾を1cm+2cmで三つ折し、アイロンで押さえます。



19.裾端から1.8cmのところにくるっと一周ステッチをかけます。



20.スカート上部にギャザー寄せのための粗ミシンを2本かけておきます。



先ほどアイロンをかけた身頃裾を開き、裏に返した身頃の中に入れたスカートの中表になるように入れ、前後中心と脇を合わせます。



そのとき、脇線の端はズレますが、無理に合わせず端から3cmのところ^①が合うように待針などで止めます。
※無理に端を合わせると、出来上がりの脇線がズれてしまうので注意。



粗ミシンをかけた糸を引っ張り、均等にギャザーを整えて待針やクリップ等で細かく止めておきます。



縫い代1cmで縫い合わせます。ロックorジグザグミシンで縫い代を処理します。



アイロンで身頃の端にくせ付けした線に合わせて中へ折り込む

表に戻し、アイロンでクセをつけた身頃の裾線に合わせて先ほどの縫い合わせ部分を裏側に折り込みます。



身頃裾から1,5cm~1,7cmの重なっている部分に表からステッチをかけます。



後ろにお好きなボタンを付けて完成です。
お疲れさまでした！
ぜひ色々な組み合わせで作ってみてくださいね♪